

2008.4
春号
Vol.12

わかば

WAKABA

あんなん ひびきあい
彦根市議会議員 **ばばかずこ**
〒522-0041 滋賀県彦根市平田町428-2
TEL&FAX 0749-23-2340
URL <http://kazuko1107.web.infoseek.co.jp>
E-mail 1107kazuko@infoseek.jp

●「こんなこと、あんなこと、どんなこと」心とこころを響き合わせましょう。

春の城、梅と桜の香ににおう

沈丁花の香に春の訪れを感じるようになってまいりました。地域の皆さんや、桜の会の有志の皆さんが丹精された平田川の桜の蕾にも、ほんのり桃色が混じり始め、春本番を迎えます。日頃は、わかば会の活動へのご理解と、ばばかずこへの温かいご支援をたまり、厚く御礼申し上げます。さて、私たちの住む彦根市では、『彦根城築城400年祭』が開催されました。内外から7万人の来場者を迎え賑わった彦根城にも、穏やかな春が訪れ、今年6月から2ヶ月間にわたって開催される『井伊直弼と開国150年祭』に向けて、その準備が着々と進められています。



燃えにくいと言われていた『彦根人氣質(ひこねじかたぎ)』が燃え上がり、成功した一大会で芽吹いた機運を途切れさせることなく、官民協働の体制づくりのために「百の愚病より、十の提案。十の提案より、一の実行」をモットーに、今後も元氣いっぱい市民の皆さんのお役に立てる議員として、汗を流してまいります。一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年3月 ※定例議会では



1 「子ども達の教育環境の整備について」
モンスターペアレントと呼ばれる理不尽な要求を繰り返す保護者対応で、本来の子ども教育に専念できない、またそのことが原因で心を病んでいる先生への対応について質問をしました。
→教育長からは、モンスターペアレントの実態の開示と、教師が子ども達の教育に専念できるように『学校問題解決支援事業』を開始し、教員OBなどのコーディネーターが地域などと連携し、学校や保護者に指導・支援を行って行くとの答弁。

2 「本に親しむ環境の整備について」
①彦根市立図書館の開館時間を考慮するなど、弾力的な有効活用と温かく居心地の良い図書館であるための手立てについての質問には、→教育部長より、開館時間の弾力的な取組みを進めると共に、市民ボランティアの協力を得て、温かい雰囲気図書館運営に努めるとの答弁。
②市内南部対応の第二図書館構想として、子どもセンター図書室の機能拡充の提案については、→教育部長より、現段階では子ども向けの書籍の充実を努めているところであるが、前向きに検討していきたいとの答弁。
→教育部長より、児童・生徒からの申し出により休校中も当番の職員により対応するとの答弁。

3 「地域の防災力を高めるための手立てについて」
①災害時に力を発揮することを求めている地域防災について、住民、特に要援護者の安否確認のための情報提供についての質問には→総務部長から、要援護者の名簿を作成し、地域と情報の共有を図る取組みを進めたいとの答弁。
②社会的にも問題化している救急搬送の実態についての質問の中、#7119と呼ばれる救急車の不適切な利用による重篤患者への遅れを回避する電話での出動有無の確認についてと、消防本部での各病院情報の確認状況など、救急体制の実情についての質問には、→消防長より、毎朝9時に市内5病院の医師や空きベッドの状況を把握し、搬送直前にも確認をして



搬送先を決定する万全の救急搬送体制であるとの心強い答弁。
③防災・防犯メールについては、その登録数を質し、防犯メールの着信の遅れを指摘したところ、→総務部長より、現在の登録数は3803件。火災など緊急情報以外は警察からの情報提供や目撃情報を確認後の配信になる場合もあるためとの答弁。

4 「彦根を盛り上げる取組みについて」
①彦根城築城400年祭での盛り上げの機運を途切れさせることなく、今年6月から始まる井伊直弼と開国150年祭での官民協働の体制を持続するためにも、『ひこねを盛り上げ隊』など、これからの彦根の元気を支える人材へのサポートについての質問には、→企画振興部長より、城内や玄宮園への入場時に身分を証明するものを発行し、入場時の便宜を図る旨の答弁。
②景観保全の取組みの中、幻の植物とも言われる彦根独自の遺伝子を持つオニバスの保護への支援についての質問には、→産業部長から、オニバスの生育地である濠の蓮の刈り取りなどのサポートを行うとの答弁。
③善利組足軽屋敷、ひこね市民活動センターとして活用している、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ建築の旧彦根高商教員宿舎が経年劣化により朽ち始めている現状を訴えた上で、彦根に残る貴重な建造物に対する支援を求め、その見解を質したところ、



→文化財課参事より、文化的価値の調査から始め、保存・活用に向けての何等方面的支援が出来るように努めるとの見解を確認しました。



■今回は大きく4項目、細項目では25項目にも及び多岐にわたる質問内容になりましたが、市民の皆さんからいただいた声を市政へ反映させるべく限られた60分の質問時間を一杯使った質問を展開しました。詳しくは彦根市議会のホームページに議事録が掲載されています。(議会閉会後、約3ヵ月後のアップとなります。)



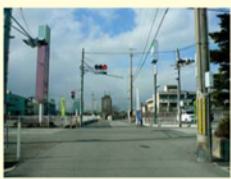
あんなこと、こんなこと、どんなこと

市民の皆さんからいただいた声にお応えします。

毎日の活動をホームページで公開しています。
「ばばかずこ」が「ひびきあい」で検索していただければ、簡単にご覧いただけます。

皆さんの声に応えるべく、全力で取組んだ1月2月3月

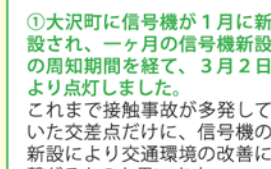
- ①平田町924-3付近(南区) 平田川の石垣補修工事について(平田町要望4号;平成19年5月28日)
→県で対応。3月13日に補修工事実施。
- ②平田町943-1付近(中区) 平田川の石垣崩落補修について(平田町要望14号;平成19年10月10日)
→県の対応。3月13日に補修工事を実施。完全ではないため、再度県への要望継続。
- ③平田町148-26付近(北区) カーブミラーの設置および道路上の白線補修について(平田町要望15号;平成19年11月12日)
→民間所有のため、カーブミラー設置は不可。要望のあった白線引きなおしについては6箇所のうち4箇所を実施。
- ④平田町100-2~100-23(北区) 側溝改修について(平田町要望11号;平成19年11月12日)
→河床のレベルチェックを実施し、部分的に勾配のないことを確認。平成20年度対応となる見通し。
- ⑤平田町816-10~18(南区) カーブミラーの新設と停止線の設置について(平田町要望17号;平成19年2月25日)
→カーブミラー新設について、平成20年度対応となる見通し。
- ⑥平田町745-5付近(南区) 交通安全対策として白線の設置について(平田町要望18号;平成19年11月12日)
→3月6日確認。交差点に十字マークの新設を平成20年度対応で行う見通し。
- ⑦平田町100-17付近(北区) 平田川右岸フェンスの補修について(平田町要望19号;平成19年11月26日)
→一級河川を管理する県での対応か市での対応かの協議の結果、市で対応。1月にフェンス補修を実施。
- ⑧平田町344付近(北区) カーブミラー新設要望について(平田町要望号;平成20年2月4日)
→3月18日確認。電柱転化方式を採用。個人所有の土地内の電柱のため、所有者と関西電力の同意を得られれば、平成20年に電柱のカーブミラー新設の見通し。
- ⑨平田町134-1付近(北区) 平田川左岸路壁、急斜面危険箇所整備について(平田町要望21号;平成20年2月4日)
→2月12日、平田町内会長、桜の会事務局長同道でサツキの補植を要望。3月6日確認。植栽時期である秋から冬に県で補植実施の見通し。
- ⑩平田町292-6(中区) 停止線の移動変更について(平田町要望22号;平成20年2月26日)
→感知式信号機の感知器最大5mのものが入手次第、器具の取替えと、停止線の引きなおしを実施の予定。



⑪千鳥自治会要望の公営住宅の不法投棄車輛の撤去要望について
→平成18年12月27日に撤去を促す警告書を掲示後、半年経過を待って一部撤去。今回、二度目の撤去作業を実施。3月3日に全ての不法占拠物を撤去。

トピックス

- ①大沢町に信号機が1月に新設され、一ヶ月の信号機新設の周知期間を経て、3月2日より点灯しました。これまで接触事故が多発していた交差点だけに、信号機の新設により交通環境の改善に繋がるものと思います。感知式信号ですので、停止線の白い大きな丸の上に停止してください。バイクなども丸の中に停止すれば感知します。
- ②滋賀県市議会議長会主催の調査団の一員として波豪。高齢者福祉と歴史的建造物の保護・活用についての研修を深められました。また、県内の他市議員との交流を深め、今後も定期的に情報交換をする『土泉会』の設立に至りました。
- ③ひこねを盛り上げ隊のキレイ隊活動の一環として、駅前花壇の整備完了。善利(せり)組花壇にあった、彦根城、天秤檜、時報鐘のオブジェが、彦根駅前花壇に移築され廻りました。



わかば会からのお知らせ

『今後の花金トーク開催予定』

5月2日(金曜日)	長曾根南自治会館
6月6日(金曜日)	和田会館
7月4日(金曜日)	大沢会館
8月9日(土曜日)	平田公民館
9月5日(金曜日)	平田集会所
10月3日(金曜日)	西平田集会所
11月7日(金曜日)	長曾根自治会館

いずれも午後7時半からの開催です。歩いてでもお越しいただけるお近くへと寄せていただきます。皆さんからの「あんなこと、こんなこと、どんなこと」を聞かせていただきたいと思います。お誘い合わせて、お気軽にお出かけください。また、どのような集まりにでもフットワークも軽く寄せていただきますので、ご一報ください。

